

# インクルーシブの窓

令和6年9月 富山県教育委員会教育みらい室特別支援教育課



## 「特別支援教育将来構想」の実現に向けた取組を紹介します！



富山県では、令和4年3月に『富山県特別支援教育将来構想～新しい令和の時代に目指す姿と実現に向けた取組～』を策定しました。本県における特別支援教育のおおむね5年間で目指す姿と実現に向けた取組を以下の6つの視点で整理したものを（右のQRコードからご覧いただけます）で、今年は中間年に当たります。今号では、取組を2つ紹介します。



- I 共生社会の実現に向けた連続性のある多様な学びの場の整備
- II 学校、家庭、地域、医療・福祉・保健・労働等の関係機関連携強化
- III 多様な教育的ニーズに対応できる教員の専門性の向上
- IV ICTや専門家の活用等による指導の充実
- V 企業と学校、家庭が一体となった就労支援
- VI 特別支援学校の施設設備等、教育環境の整備



### ＜視点 I の取組より＞

#### SDGs インクルーシブ教育システム推進事業

推進員が小・中学校等を訪問し、特別支援学級の教育課程の編成や、通常の学級へ学びの場を見直すプロセスに関する相談支援を行っています。昨年度は、2学期を中心に約70校にお伺いしました。なお、依頼に応じて、インクルーシブ教育システムに関する研修をサポートしています。

また、今年度も、インクルーシブ教育推進フォーラムを行います。期日は11月27日（水）、会場は高周波文化ホール（射水市）です。10月上旬に二次案内を配信します。

### ＜視点 V の取組より＞

#### VRを用いた就労支援教材

特別支援学校の職業教育に協力する企業で結成した「就労応援団とやま」登録企業の協力のもと、VR動画教材の開発に取り組んでいます。

就職希望の生徒が学校にいながら企業の環境を疑似体験したり、主体的かつリアルに仕事内容を体感したりできます。また、就業時に必要な挨拶、応答、報連相等の具体的スキルも映像を通して学ぶことにより、人との関わりや失敗に不安や困難を感じやすい生徒も抵抗なく取り組んでいます。